

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！  
2月24日「不当差別・選別攻撃糾弾 勤労千葉激励会」を開催



水野副委員長が開会を宣言した後、勤労千葉を代表し中野委員長から「政府・国鉄当局が十二名の役員・活動家を清算事業団に振りわけるといふ由々しき事態に勤労千葉は、一人の首切りも許さず、全体で守りぬいていくという基本姿勢をもつて十二名を断固として守りぬく決意である。中曽根・当局の国鉄労働運動解体の狙いは粉碎したが、二八名の解雇者、今回の不当にも差別・選別・パージされた十二名の仲間たちをわれわれの手に奪いかえすまでは闘いは終らないし、労組の指令に従い、組合員を守るために先頭で闘いぬいてきた者を「不良職員」などと断じて言わせぬ」と十二名の仲間を孤立させることなく全体で守りぬく決意を明らかにした。

12名の仲間の決意を  
全組合員がしっかりと刻みこみ  
団結して闘いぬこう

勤労千葉は、二月二四日、千葉駅ビルにおいて「不当差別・選別攻撃糾弾・勤労千葉激励会」を開催し、不当にも選別された十二名の仲間と、支部代表、来賓など一二〇名が結集し、組合員の先頭で闘いぬいてきた十二名の仲間を守りぬき、奪いかえす闘いに全力で決起していくことを誓い合った。



直ちに裁判闘争で闘いぬく  
つづいて来賓の挨拶に入り、決戦の三里塚よりかけつけた反対同盟・萩原進氏が「職を奪われることは農地を奪われることと同じで闘う者にとって武器を奪いとられることだ。反対同盟は、わが身にかけられた攻撃としてともに闘いぬく」と決意をこめて挨拶された。

そして、船橋市議・中江昌夫氏が「法をも無視した首切り攻撃を許している勤労「本部」などの労働運動に怒りがわく。四月選挙戦に勝利し、反撃の突破口をつくりだしたい」と激励された後、檄電、メッセージが紹介され、中野委員長の乾杯の音頭によって歓談に入り、十二名の仲間を中心に交流を深めた。



林氏、中村氏が  
代表して決意述べる

勤労千葉弁護団の清井弁護士より「勤労千葉弁護団は全国に先がけ十二名を守りぬく裁判闘争を闘いぬくことを明らかにした。そして、盛大な拍手を浴びて激励会の主役・十二名が登場し、一人ひとり紹介された後、林熊吉氏（幕張支部）中村仁氏（千葉転支部）が代表して決意表明にたちました。



林氏は「十二名のみならず勤労千葉全体への攻撃だが、二重、三重の攻撃をうけてもへばりはしない。清算事業団の中で断固闘いぬいていく」と力強い決意を述べた。また、中村氏は「解雇された二八名の仲間を勤労千葉の旗を組合員一人ひとりが頑張って守りぬいてもらいたい」と組合員の先頭にたつて闘いぬく決意を行った。そして、家族会・林会長より、「これからも頑張ってほしい」と激励された。「十二名の決意、家族の励ましを全組合員が腹の中にしっかりと刻みこみ正念場を団結して闘いぬこう」と水野副委員長の閉会挨拶、そして、山口副委員長が「団結ガンバロー」をもって成功裡に終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！